富友会会誌

2016

No.69

静岡県立富士高等学校同窓会富友会

富友会総会のご案内

日時　平成28年8月20日(土)　13時30分受付開始　14時00分開会

1. 総　会　14時00分～ 14時50分　富士市交流プラザ「多目的ホール」

2. 講演会　15時00分～ 15時50分　富士市交流プラザ「多目的ホール」
講師：㈱フジテレビジョン編成制作局アナウンス室チーフアナウンサー
佐野　瑞樹　氏（高校42回）
演題：「テレビのつくり方 」

3. 懇親会　16時10分～ 17時40分　ホテルグランド富士「孔雀の間」

4. 会　費　5,000円　当日参加も可。80歳以上の方は無料です。

＊富士市交流プラザ　　富士市富士町20-1　TEL　0545-65-5523
＊ホテルグランド富士　　富士市平垣本町8-1　TEL　0545-61-0360
＊駐車場は終日ホテルグランド富士を利用できます。
　なお、飲酒される方のお車でのご来場は、おやめください。
＊開催担当幹事　高27回　32回　37回　42回
＊お問合せ　TEL　090-1093-9451　高野（高27回）まで

もくじ

巻頭言 …… 幹事長　井上　保（高二十回） … 1
『共同受賞したかった…』
　贈られた言葉 …… 会　長　小室　直義（高十九回） … 2
先行き不透明な時代の人材育成 … 校　長　杉山　洋一 …… 3

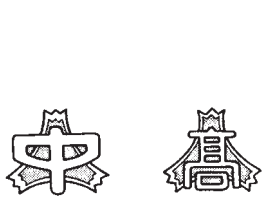
随　想 …… 4
旧制富士中の校旗への思い　渡辺　寛（中十九回）・〈CORE〉渡井　亘（高一回）・つれづれのまま　山本　誠（高四回）・生ある限り前向きに　近藤雅弘（高七回）・おしゃれ　池田龍司（高九回）・諸行無常　田村隆男（高十二回）・校歌の作詞者作曲者（承前）　片岡正彦（高十六回）・秀麗富士の下の青春　和田秀樹（高十九回）・北国に勤務して　小野　剛（高二十回）

同窓会だより
平成二十七年度富友会総会を終えて …… 18
富嶽祭　富友会展示コーナー …… 19
富士高ＯＧ「朋友会」を「ふじざくらの会」に改名 …… 20
高八回代表幹事より …… 21

学校だより
部活動の記録 …… 22
合格を勝ち取るには …… 31
大学別合格者数 …… 32
最近３年間の卒業生の合格状況 …… 34
人材の情報提供のお願い …… 35

事務局より …… 36
富友会寄付・会計報告 …… 38
富士高校クラブ後援会からのお願い・編集後記 …… 40

表紙写真「富士市バラ祭り」　撮影　金刺　俊幌（高二回）



巻頭言

富友会・幹事長　井上　保（高20回）

前々回この巻頭言を書く機会を借りて、進学校として有名な東京の開成学園の創設者である佐野鼎先生が富士市水戸島の出身であるということを紹介させてもらった。そして機会ある毎に「何か先生の手掛かりはありませんかね」と聞いていたら、郷土史家の方に「ところで『佐野善作先生』はご存知ですか？」と聞き返された。

「え？どういう方ですか」と教えてもらうと「富士市中島の出身で東京商科大学（現一橋大学）の初代学長をされた方です」と言って『佐野善作伝』という本を見せてくれた。佐野先生の息子さんがまとめたものだ。大切に守っていかなくてはならないし、広く紹介出来たらと思い、富士市立中央図書館にそれを寄贈してもらった。

冒頭に「佐野善作は、明治６年８月29日、今の富士市中島に生まれた」とある。一橋大学に入学するだけでも大変なことなのに、その人たちを教える側にあってその統率・監督の役を務めたというからには相当な人物に違いない。そんな人物が身近にいたとは俄かに信じ難い思いがした。

本には地図が描かれていて、先生の家の位置が示されている。富士高の南側の道を昔の竪堀駅に向かって校庭の西南端から120mほど歩き、左折して50mほどの所だ。正に目と鼻の先だ。

先生の生い立ちについて、きっと乳母日傘で育って、然るべき英才教育を受け、然るべくエリートコースを歩んでいったのだろうと想像しながら読み進んでいくと、実は大変な苦労をされたことに驚かされる。

明治17年「家運大いに衰え」家族で東京に出るが「父君未だ定業を得ず、学資の支弁おぼつかなかりしば遺憾ながら学業を中絶し…丁稚奉公をなせり」そして後「父母はようやく定業を得…父は突然（奉公先を）訪れ、暇をとってくれた」そして「一心不乱に勉学」していくことになる。「そのときの感激、感謝、感悦、篭中の禽の放たれたるが如き感あり、今なほ明らかに記憶す」と自らが書いているとある。

本には先生の故郷・富士への思いを窺わせる箇所がある。避暑に山梨県の都留に行くことを例としていたがそれは風俗が郷里の駿河に似ていたからとある。また先生は『岳南』と号し、先生を囲む会の名は『岳南会』と称するということだ。

こうしていつも故郷のことを思ってくれていた立派な人物がこんなにも身近にいたということを知って実に感動した。黙っていられなくてこの機会をお借りして紹介する次第である。

『共同受賞したかった…』贈られた言葉

富友会　会長　小室　直義（高19回）

富友会にとって昨秋来の大きな話題と関心は、ノーベル物理学賞を昨秋受賞した東大宇宙線研究所所長の梶田隆章先生が何度となく故戸塚洋二先生（高12回）の功績を述べてくれていることに対しての喜びと、改めて戸塚先生の偉大さに対する崇敬な気持ちがより高まったことにあると思っています。そうしたことから多くの同窓生より富友会として戸塚先生顕彰事業を行ってはいかがとの声が寄せられました。そこで本部役員会にも諮り、また富士市市制50周年記念事業に富士市名誉市民である戸塚先生に関する催しを考えているという小長井富士市長（高26回）にも様子を伺い、等々を重ねる中で梶田先生に戸塚先生に寄せる想いを富士高生・富友会に贈っていただけたら幸いということになりました。そして３月、梶田先生を訪問するという小長井市長に富友会々長名での一文を託しました。

その概要は『梶田先生におかれましてはノーベル物理学賞を受賞されたこと誠におめでとうございます……同時に我々富士高校に関係する者一同深く感動を覚えましたことは、梶田先生から故戸塚先生の存在と業績について広くご紹介されておられることであります。そのことにより富友会として改めて故戸塚先生のことを同窓生一同、また在校生さらにこれから入学する後輩たちに何らかの形に現わし伝えたいとの想いが募って参りました。……梶田先生が戸塚先生を偲び富士高生に宛て伝えたいお言葉がいただけたらと願うものであります……』

これを読まれた梶田先生は「僕は字が下手なんですよ」と微笑まれていた、と小長井市長からその時の報告をいただきました。

そして５月22日秘書の方を通じていただいた言葉は『戸塚先生のおかげで世界に誇るスーパーカミオカンデを使って研究ができ、成果をあげることができました。戸塚先生とともに共同受賞したかったと思います』でありました。

戸塚先生を偲び我々に伝えたい言葉、まさに梶田先生の真心が伝わってきていて感動を致しました。で､この贈られた言葉をどのような形に現わして伝えて行くのかを早急に検討し、８月の富友会総会において賛同をえて実現化していきたいと思っているところです。

ところで「伝える」ことに関してですが、昨年度の総会で事業化承認された富友会HPが去る３月末にオープンしました（施工業者㈱富士（高26回））。HPには同窓生紹介コーナーが設けられていますが言うまでもなくその第一号は戸塚先生です。紹介の内容はHPをみていただくことにして各位も同窓会連絡等HPを大いに活用していただいて富友会タテヨコの拡がりと結びつきを強めてもらえれば幸いです（バナー広告お寄せくださること、お願いします）。

最後にですがこの度の顕彰事業を通じて思ったことはどの分野にせよ先輩戸塚先生の偉業に触発された富士高卒業生から必ずやノーベル賞受賞者が出るであろうことを期待したところであります。まことにもって僭越ながら私からは後輩のみなさんに「先輩に学ぶ」という言葉を贈らせていただきたいと思います。

先行き不透明な時代の人材育成

校 長　杉山　洋一

本年４月に、第29代校長として着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。富友会の皆様には、平素本校の教育活動に温かい御支援･御協力をいただいておりますことに、まずもって感謝申し上げます。

さて、着任以来目にする本校の生徒の姿は、まさに「文武（芸）両道」。勉学はもちろん、部活動に学校行事に全力で取り組んでおり、校訓の一節、「克己心身を練れ」の伝統が息づいていると感じています。昨年度の進学実績や部活動の戦績については、この会誌に掲載されると思いますので、そちらを御参照ください。

ただし、本校に限らず、現代の若者を取り巻く状況は、不透明さを増していると言わざるを得ません。2011年の東日本大震災もそうでしたが、今年の４月の熊本地震は震度７の地震が連続して起きるなど、これまでの観測の常識では測れないものでした。今後予想される東海地震やそれに連動するとも言われる富士川河口断層帯の地震など、本校にとっても他人事ではありません。さらに国内外の社会情勢に目を向けても、テロ、経済格差、環境問題、少子高齢化等々、現代社会の問題は山積みと言わざるを得ません。

しかし、このような時代に対応できる人材を育成することが、本校に課せられた使命です。今年の３月、今後の大学入試等の在り方について議論してきた、高大接続システム改革会議の最終報告が出されました。その報告の冒頭の「検討の背景と狙い」の中で、「先行きの不透明な時代であるからこそ、多様な人々と協力しながら主体性を持って人生を切り開いていく力が重要になるということである。また、知識の量だけでなく、混とんとした状況の中に問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質や能力が重要になる」と述べられています。このような人材を育てるには、どのような教育が必要なのでしょうか？

同じく今年の冬、ＮＨＫのＢＳで「歴史エンターテインメント “大江戸炎上”」という番組を偶々みました。江戸時代の名君として知られる保科正之が、1657年の明暦の大火の際に取った行動を中心とした内容でした。彼が取った対策は、被災者救済の粥の炊き出し、諸大名への帰国命令（米の消費抑制のため）、広小路の造成、両国橋の建設（防災と流通の活発化）など。中でも有名なのは、権威と権力の象徴であったはずの江戸城天守閣を再建しないと決定したことです。文治政治への転換を図り、庶民の救済と江戸の復興により、その後の徳川幕府の基本路線を作った人と言われています。

保科正之がこのような人物となったのは、彼が二代将軍秀忠の庶子として生まれ、高遠という小藩の養子として育ったことも影響しているでしょう。幼少年期に、領民の貧しい暮らしを目の当たりにし、それを支える藩主としてどうすべきかを教育され、まさに「勤勉実力を養え」という環境にあったのです。

本校においても、保科正之のように、人々のために新たな視点を持って時代を切り開いていく人材を養成すべく、「至誠事に当れ」を旨とし、教育活動に励みたいと思います。御支援のほど、よろしくお願いいたします。

随想

旧制富士中の校旗への思い

渡辺　寛（中十九回）

毎年、富友会の総会には、旧制富士中の校旗が、現在の富士高の校旗と並んで掲げられている。

旧制富士中の校旗の旗手は、渡辺隆君である。

第十九回、第二十回卒の合同の同窓会は、毎年開かれている。しかし、出席者は少なくなった。

それでも、渡辺隆君は同窓会の幹事を引き受け、校友会総会でも旗手を務めている。高齢だが、まだまだ意欲は衰えていない。

昨年の校友会の総会のとき、休憩室にいると、通りがかった小室直義会長が笑顔で話しかけた。

「いつまで、旗手をやってくれますか？」

渡辺隆君は、とっさに答えた。

「死ぬまで、やりますよ」

私は予想しなかった返事に思わず笑ってしまった。

この情熱というか、執念というか、すごいと思う。

私が想像するのに、青春を過ごした母校への熱い思いを、いまも持ち続けているのだろう。旧制富士中に在学中、軍事教練や軍需工場への動員などを体験し、それから軍隊に志願した。そういう体験は決して忘れることはできないだろう。

話は変わるが、五月二十七日に、オバマ米大統領が広島を訪問することになった。世界が核軍縮に向けて動き出す気運が高まってほしい。唯一の、原爆の被爆国である日本は、悲惨な体験を忘れないで、原爆反対の声を上げ続けなければならないと思う。

最後に、旧制富士中の歴史を振り返って、過去を参考にし、新しい道を求めて発展して行ってほしい。

随想

〈CORE〉

渡井　亘（高一回）

Je Pense donc je suis〈ジュパンスドンクジュスゥイ〉（我、思う故に我あり）よく知られている言葉である。私も遅馳せながら自分について考えてみることにした。するとそこには色々な自分が存在した。正直だと言われて、正直な自分が、嘘つきだと言われ、嘘をついたことのある自分が、生真面目だと言われ、生真

面目なところが、アバウトな人間だと言われ、ああ、そうだなあと。また、几帳面だと言われ、その几帳面さが、正に正反対な自分があった。自分では根気があると思っていても、妻から貴方は気が短いうえ、怒りっぽいと言われれば、飽きっぽさの上に怒りっぽさが躍り出てくる。一方、模型作りをしているときの粘り強さを思うと、結構根気があるな、なんてとも思う。全く手の施しようのない自分の様相に驚かされた。

ある日のことだった。京都駅前のホテルのロビーで友人と待ち合わせしている間にふと目に留まったものがあった。それはコンピューターによる自己診断装置である。面白半分、興味半分でなにがしかの金を投入し、コンピューター上の画面の設問に答え、画面上に掌をかざすと、しばらくコンピューターの作動音がし、やがて診断結果がB4判、二つ折りとなって出てきた。そこには私の思っていた自分を覆すような文字が並んでいた。曰く、あなたは頭脳明晰、知的で学者肌の人間である。とんでもないことだ。こんな文句に首をかしげていると、また、次のようなのに出くわした。曰く、文学的でロマンチックな性格である。しかし、感傷に流されることはない。金運については、賭け事や投機的なことは好まず、こつこつ努力して収入を得るタイプである。弱点は人に瞞され易い、早とちりして失敗することがある。この二つは私の思う自分に誠に当てはまっている。その他、身体的には、循環器系統に問題を抱えている、これは医者から指摘されている、等々であった。しかし、これはあくまでも、コンピューターの御託宣であり、余り信用していない。コンピューター診断といえば、客観的診断のように聞こえるが、そもそも入力する設問の答えにすでに自分が投影されている。だから完全なる客観的診断とは言えない。しかし、最後の金運以下の項目にきて心がくすぐられた。それが私が思っている自分と重なっていたからだ。すると不思議なことに、その他の項目についても思い当る節が次々と浮かんでくる。そこで、このコンピューターの下した診断を丸ごと鵜呑みにしてみた。すると、私は結構な人物だということになる。だが、残念ながらそれを裏づける確たるものが自分の中に見当らない。

自分て奴はまったく掴み所がない。それぞれの生活の場面でそれに合わせて仮面を被ったり、擬態したり変幻自在、都合のよい自分を演出している。だから他人の見る自分は、自分で考え

ている自分よりとんでもない方向違いであったりする。また、この逆もある。自分というやつは、自分で考える自分、他人が考える自分、本当の自分の三通りがある。二番目の答えはすぐ出てくるが、一番目と三番目の自分というのは？、幻のようなもの、ぬらりくらりとして捕まえ所がない。いくら考えても自分とはの結論が出てこない。

そこで、もう少し心の底にまでメスを入れてみた。するとなにかカチンと硬いものに触れた。それは鈍い光を発していて、表面に向かって沁み出していた。よく見るとそれは中学（旧制）高校時代に学んだ知恵や考え、部活動を通して鍛錬されたものが人格として凝縮されたものであり正に己がｃｏｒｅであった。考えてみれば、ぬらりくらりの自分は、表層的なもので、深層には不易、外界や時代に流されない自分が存在していることに気付いた。

しかし、人生すでに終活の時期、時すでに遅しの感は払拭できないが、これからは幾らかの尊厳を保ちながら有りのままの自分を重ねていくことにする。

随想

つれづれのまま

山本　誠（高四回）

よわい八十を越すと、自然と健康に対する毎日の生活習慣に思いをはせる様になって来ると思う。

若い時と違い、過激な運動は無論の事、持続性も難しくなって来るものと感じられ、勢い自分に合った方法を見出す事が大切だと感じられております。

小生は若い頃、先輩の供をしてゴルフに誘われプレーをする事となり、そのとりこになってしまいました。

緑鮮やかな広々としたフェアウェイに白球を追って一途に打ち込む気分は何にもかえがたく、プレーの前日は小学生の遠足の前日の様に胸をふくらませて楽しみにした思いでした。

日本のゴルフを現在の様に普及させたのはあのゴルフ全盛期の青木・中島・尾崎の三人だったと思います。それぞれ個性豊かな三人のプレーに集中している姿は、端から見ていても緊張感あふれるものでした。

現在は石川・松山と若い二人が国内・国外と大いに活躍しており、特に松山のアメリカでの活躍は見事で、いつかマスターズでカップを手にして欲しいと願っています。

取り留めの無い事を述べましたが、満開の桜も散り、鮮やかな緑の中に花

水木が可憐な花をつけ、心和ませている昨今ですが、四月十四日九州熊本に近来に無い大地震が発生し、多くの人命が、又住居が失われた事は心痛む思いです。いかに日本列島が地震大国だと云われても、今回の地震は毎日の様に大きな地震が続き、一週間たっても、半月たっても終息しないなど今迄経験した地震とは想像も出来ない事態で、熊本・大分在住の人々の気持ちを察してあまりある思いです。

震度七の強大な地震を初めとし震度一以上の地震が九百回を超え千回にも達するのではないかと地元住民の恐怖心を募らせています。一日も早く終息し安定した生活に戻られる事を願うものです。

幸い私達の住む岳南地区は、気候温暖で大きな災害に遭遇した事も無く、校歌にも歌われている『嶺峰富獄のそびゆるところ』の富士山に守られ大変恵まれた立地だと思います。

私達四回生も歳を経るごとに少なくなり、現在は半数となってしまいました。

先を見越して毎日毎日を存在感の有る日々としたいと願っております。

随想

生ある限り前向きに

近藤雅弘（高七回）

昭和十一年一月一日生まれなので、一の数字にこだわり、結婚式も一月十一日にしました。夫婦ともに元気で生活しております。

八十歳になりましたが、生ある限り前向きに生きていきたいと願っています。

昭和六十年一月一日に取得した社会保険労務士の資格を生かし、銀行員生活後の第二・第三の職業として、掛川市の診療所の事務長として二十二年間新幹線通勤し、今も非常勤として勤めております。

できる限り歩こうと、休日は朝一時間ほど歩き、草取り、ささやかな畑仕事もやっています。また、太極拳も二十二年間続け、昨年は永年表彰をもらいましたが、最近は腰が悪くなり、女房からは「姿勢が悪い、前を向いて歩きなさい」と指摘されている次第です。

昭和四十九年一月十一日に地元の先生について習い始めた尺八は、三島のプロの先生について精進を重ねましたが、両師とも亡くしたため、東京の家元に通い、平成二十七年三月に師範免状を取得して集大成、今年四月二十九

日には二度目の国立劇場出演を果たすことができました。

娘が箏曲の教授・演奏家として活動しているので、一緒に子供たちに日本の伝統音楽を広めたいと、昨年の六月から「伝統文化・箏曲・尺八子供教室」を開催しています。孫のような子供たちが上達し、発表会で成果を披露してくれるのを楽しみにしております。

また、ここ三年ほどパソコン教室に通い、独学の知識を超えて、最新の正しい知識を身に付けようと励んでいます。

できるだけ色々な会合に出席して、人の輪を広げ大切にしたいと思っています。中でも高校七回卒業生の交流の会「十一年会」に参加させてもらい、唄ったり、食べたりして青春時代を思い出して、年を忘れて楽しんでおります。世話役さんには大変感謝していま す。色々なＯＢ会にはできる限り参加していますが、段々周りの同期が少なくなってきて寂しさを感じています。

人生のゴールまで、色々な用事を作って、社会貢献しながら前向きに進んで行こうと心がけています。

随想

おしゃれ

池田龍司

（旧姓・塩谷龍司　高九回）

○殺さないでくれ―

2度目の心臓の僧帽弁置換手術を7年前に受けた。

「3日目にはＩＣＵからＨＣＵに歩いて行ってもらいますよ」――2度目の手術。何かヒョイヒョイと軽い頷きの中、手術をうけたら、デデーン肺炎になり菌がみつからないと――。

39度の熱が続き冷凍マットに寝かされて5日間、手脚10本以上の点滴、口には管が入り、身動きも話も出来ない。1日3回面会があり、その都度家人の掌に「寒いよ、寒いよ」と指で書き示していた。

家人は万が一の場合も想定していたらしい。妻直美は保険証書を見入っていたという。

そんな5日目、主治医の手をとり、掌に「殺さないでくれ」と書いた。

○もっと生かして

それかあらぬか生き返り、変わらぬ生活とプール通い、養生悪かった為か、一昨年12月、3度目の異変。

「まあそのまま静かな生活をすれば何とか大丈夫でしょう。」家人も頷き本人としても「まあ」とも思い、医師にもその由伝えるべきを、「先生、私はかわいい孫ともっと一緒にいたいし、夢

や希望も山ほどあります。どうか手術をしてもっと生かしてください。」3度目の手術にのぞんだ。無事2日目には、歩き、おもゆを食べ、順調に快方に向かってこの方、今また毎日泳ぎに通っている。

○殺してくれ

姉は90才、その名は若子。介護施設にいるが、認知症がひどい。でも、ここ、何処？僕、誰？などと自分が自分でなくなったら、また寝たきりになり、人に迷惑をかけるようであったならすかさず殺してほしい。あるいは自殺する勇気が欲しい――今の私のせいぜいの倫理観だし、姉や、その家族を、しかと見てしみじみ今、それを感じている。

○殺してはダメ

近くに妊娠中の姪のえみちゃんがいる。生まれる赤ん坊に会うのが楽しみだという。話が過日のＴＶの話になり、生まれたての子を平気でビニール袋に入れて、遺棄したり、女児を虐待して食事も与えず殺したりの親の気持ちが知れないという。まず産む（母）親に10ヶ月の間にしっかり親としての認識の中で、子供を産むべきであり、親になるべきである。そしてそれに適さず、その資格に満たない者には人の親になるのは酷だし無理。子供を施設や里子を検討すべきだと思う。愛のない親に「親の免許」を与えてはならない。

○殺したくはない。

つい先日、初恋のデコちゃんが現れ「主人も亡くなったし、子供達も片づいたわ」と――。それは幼稚園時、私が雪の降る日にデコちゃんをおぶって家へ送り届け、彼女はずっとそれ以来、私が白馬に乗って迎えに来てくれると信じ待っていたとのこと――。わかったデコちゃん、では、妻を殺すか、何処ぞの男におしつけて結婚させるから、しばし待って――と、今その機をねらっている。どうぞ、誰か妻の嫁入り先をお世話下さい。殺したくはないです。

○生かす

孫のレナの日記に「家にはジャマイカ島のマーネ族がいっぱいいます。その酋長はジージです。」ときた。

よく「じゃあ、まあいいか」を連発、「まーね」は家人の口ぐせです。どだいアバウトで、どちらかというといい加減の「いいか原人」だし、お節介好きの「お世界人」の集団です。万物は変わるべきである。より新しくよりよいものに――せいぜい孫達や若者にお節介をやきつつ、人を育て生かしてやれたらなと思うし、オンリーワンの若者に育っていって欲しいと思う。そ

ういう若者はまぎれもなく日本の宝・資源です。

○死んだ人にも

私は縦糸に「心のおしゃれ」をと願い、行動の美学のもとに美の追求と、宗教心をもって、森羅万象、天の星・地の花にも、老若男女、障害の人にも死んだ人にもすべてにやさしく親切でありたいと思っている。そう只ら思っているのだが……ハアテ?

○終焉

何があってもどんな時でもほほえんで許す気持ち、祈る気持ちをもち続けたいし、健康でせいぜいおもしろ真面目でマイペースの人生を送って行けたならと思う。

そう「名こそ惜しけれ」の思いを込めて、目をつむりたい。

随想

諸行無常

田村隆男（高十二回）

このたびの学年幹事のご指名は同窓会活動に長いこと失礼してきました小生にとりましてまたとない恩返しの機会と思い、お受けすることとした次第であります。未熟ものではありますが精一杯お勤めをさせていただきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

先週、後期高齢者の保険証が送られてきました。あっという間の七十五歳だったなあというのが実感であります。六十五歳でリタイアした当時は少々時間を持て余し気味でしたが、御陰様で今は時間が足りないほどです。この頃のような初夏の季節になりますと、朝四時半頃目を覚まし、五時頃から約二～三時間くらい歩いてきます。途中菩提寺の常諦寺により先祖のお墓参りをします。家に帰り庭の掃除、お稲荷さんに参拝、仏壇に回向し、九時頃からお昼を挟んで五時頃まで書斎でパソコンに向かって家の資産管理や運用を主に、寺、神社、地域活動の整理をいたします。その間に取引先様の来訪を受け対応をいたします。夜は家内と晩酌をしながら夕食を食べてゆっくり過します。しかし週に一～二回、取引先様や友人たちと夜の街へ繰り出し楽しんでいます。朝は菩薩、昼は修羅、夜は煩悩の世界をひと回りして、朝になると菩薩になりまた歩き始めます。

小生が四十七歳の時菩提寺の筆頭総代をしていた父が亡くなり、その通夜の晩に富士高で一年先輩の住職（泉堯俊）様からお前が筆頭総代をやりなさい、と強く要請されました。その頃は横浜に在住していて、会社の仕事も多くてとても無

理でありました。泉先輩は富士高校時代は正義の味方の親分的なところがありまして、小生が藤棚の下で三年生に殴られそうになったとき泉先輩に助けて貰いました。その恩義がありまして筆頭総代をお受けすることにいたしました。このご縁が、小生の人生航路のターニングポイントになりました。それ以降、仏さまの教えを学びこれを実践することが人生航路の指針だと確信するようになりました。

リタイヤした65歳の当時だいぶ足が衰えてこのままでは歩けなくなってしまうと思い、家の周りを歩き始めました。初めは二キロ歩くのがやっとでしたが、毎日少しずつ距離を伸ばし、一年で九キロ～十二キロくらい、歩けるようになりました。しかし毎日同じようなところを歩いても飽きてしまいます。そこで江戸時代の大動脈であります五街道が今はどのようになっているのか、歩いて見てみようと思い立ち、平成十九年秋から東海道を手始めに歩き始めました。中山道、甲州街道を歩き終え、今は日光街道と奥州街道（宇都宮まで同じ街道）を歩いております。

一日の行程は江戸時代の旅人のように出発は明け六つ（夜明け）、到着は昼八つ（昼過ぎ2時）、途中休憩をはさんで約八時間くらい歩きます。そうしますと東海道五十三次、五三〇キロメートルを延べ十九日、一日平均二十八キロメートルくらい歩くことができました。中山道ですと六十九次、六三〇キロメートルを延べ二十八日、一日平均二十三キロメートルくらいで歩きました。中山道は中部山岳地帯を縦断するため一日の距離が伸びません。

街道歩きはだいたい平地では分速七十～八十メートルで歩けますが、峠越えになりますと分速三十～五十メートルくらいに落ちてしまいます。ですから、風景、音、匂い、風、雲、霧、雨、を五感で感じ、そこからいろいろなことに思いをめぐらすことができます。

街道歩きの醍醐味は、語りつくせないのですが、ひとつあげるとしたら諸行無常を感じたことであります。

江戸時代の政治、経済の大動脈として大いに栄えた五街道が、土木技術や交通手段の進歩により今は高速道路や新幹線に代わり、昔栄えた街道筋の宿場が今はひっそり取り残されたように佇んでおります。江戸時代、財力、権力を誇った本陣、大問屋、大店、庄屋、などはいまはありません。江戸時代、琵琶湖周辺には東海道、中山道、若狭街道、北国街道等の街道が集まり各地の情報が集積し近江商人が生まれおおいに栄えましたが、当時の近江の商家などはいまはありません。諸行無常を感じます。しかし一方では街道筋のあった昔の大店が現在は有名デパー

トに変化したり、かっての近江の商家が現在は世界に冠たる大商社に変化したりしています。諸行無常の教えは、虚しさ、はかなさ、を悟るのではなくて、変化し続けなければ残らないこと、未来に向けて変化しなさい、という仏様の教えではないかと思います。小生の家も小さな家ですが小生で二十四代、四〇〇年くらい続いた家であります。先祖が時代、時代に対応し変化してきたから今あるのではないかと思います。小生も残された人生、時代を先き読みして変化し続け、次の世代に継げていきたいと思っております。

会社を辞めてからは家のこと以外に、お寺のこと、神社のこと、地域のこと、同窓会のこと、若い人を応援すること、などをしております。もちろん御爺ちゃんの役割も楽しいです。そしてそれぞれの方たちと交流ができて、ゴルフができて、旅行ができて、お酒が飲めて、しかも見聞が広がり、会社にいたときより吸収する情報量は広く多くなりました。見識も深まったように思えます。

これからも体が続く限りこのような会に積極的に参加し、みんなが、楽しく、仲良く、幸せになるよう、お役に立てれば有り難いと思っております。

随想

校歌の作詞者作曲者（承前）

片岡正彦（高十六回）

富友會會誌第六十八號で校歌誕生の経緯を問うた者としては、その結果はやはり報告しておかなければならないだらうと思ひ、再度重い筆を執ります。

小稿の呼びかけに應じて下さつた方は五名ほどでありました。いづれも資料提供と云ふ形でした。連絡者自らが経緯を知つてをり、それを語つてくれる、と云ふ方はさすがに見えませんでした。歳月の流れは如何ともしがたいものです。

御提供いただいた資料は二点で、「勝田香月と富士高校歌――勝田香月小傳――」と「傑出の詩人『勝田香月』記」でした。

前者は富士高同窓會員ではありませんが、かつて母校國語科で教鞭をとられた壬生（みぶ）芳樹氏作、後者は勝田香月の甥にあたる方で高二十一回の勝田一芳氏作の論策です。

兩者を併せ読むと校歌誕生の状況はかなりよくわかるのですが、肝腎の点、いつ作られたか、については遂に明確な年月を得るに至りませんでした。

意外でした。こんな結論になるなど、ゆめ思ひませんでした。

抑々母校の事務室に校歌誕生の経緯

を記す書類がまつたく残つてゐない、と云ふのですから、もうどうにもなりません。

しかし、この事實によつて富友會會員名簿に載つてゐる母校沿革抄に校歌に関する記事が一行も無いことが理解できました。私が心を動かされたのは、このやうな悪条件下でも校歌誕生の核心に迫るすさまじい努力がなされてゐたことです。

関係者への取材は當然として文献の探索に手を擴げ、同窓會関係の機関誌、當時の新聞記事、県の廣報誌、関係市の図書館、縣の図書館、果ては國会図書館まで足を運んで母校校歌の揺籃期を追究してゐました。今のやうにインターネットなど利用できぬ時代に、よくぞこれだけの資料を渉猟できたものと感歎するばかりです。その人こそ壬生芳樹氏で昭和二年九月十八日まで溯つて校歌の歌はれてゐた日をつきとめてゐます。この日は柔道部の試合があつて、試合の後校歌を歌つた、と云ふ記録が残つてゐます。

又、この少し後、昭和二年十月二十九日に行はれた「開校記念式典」の中で、校歌「霊峰富嶽の聳ゆるところ」が高唱された旨の記事が、同年十一月一日附の静岡新報に載つてゐます。

右事情によつて大正十二年四月入学の第一回生卒業式（昭和三年三月）には校歌はすでにできあがつてゐたことがわかり、いささか安堵した気分になります。

さて、校歌については成立時期と並んでもうひとつ知りたいことがありました。

それはどんな手続を経て要望を作詞作曲者に伝えたのか、と云ふことです。會議など何らかの機関決定を経てのものであつたのか、それとも個人的なつてでもあつて依頼したのか、と云ふことです。しかしこれについては貴重な證言が寄せられてゐます。

「初代富士高（中）校長の北川藤吉先生が勝田香月に、郷土人であることから校歌の作詞を依頼、香月から杉山長谷夫先生に作曲を依頼したものと聞いてをります」と云ふもので前記論策作成者勝田一芳氏から寄せられたものです。この方の父上は香月の弟勝田伍郎で、「校歌制定については詳しく知つてゐた。

しかし朧げな内容は聞いてゐたけれど、詳しく聞く前に父は他界してしまつた。そんな状況下での話ですのでその点御諒承下さい」と云ふものでした。

しかしこの話は信じてよいものと思ひます。

自分の校歌作詞した学校に第二回生

として弟が入学したのですから、二人の昂揚した胸中や推して知るべしでせう。兄と何度も校歌を歌つたことでせうし、自分の息子にも折を見てはその作成経緯等を話したことでせう。

さて、このあたりで校歌成立時期について私の推測を述べておいた前稿の誤りに触れておきます。私は「出船」が昭和三年二月にレコードに吹込まれ大ヒットとなつた、それを契機として同郷の誼から香月に作詞依頼をしたのだらう、と書いておきました。

この推論の誤りはレコード化前から「出船」は藤原義江によつて盛んに歌はれ好評を博してゐたことを知らなかつたことに起因してゐます。「出船」がレコーディングされたとき、既に勝田香月は令名高き新進の詩人となつてゐたものです。校歌が「出船」レコード化以前にできてゐて何の不思議もないわけです。

校歌生誕の経緯探求はこのへんで筆を擱きますが、勝田香月についてはなほもう少し語を継ぎます。

香月は、實は私の出身中学、富士宮一中の校歌（今ぞ明けゆく大空に　自由の鐘は鳴り渡る）の作詞者でもあります。富士高校歌作詞者としての香月を知つてから程なくわかりました。更に今回、壬生、勝田お二方の論策を読んでわかつたことですが右二校の他に富士、富士宮地区で七校もの小中学校校歌を作つてゐることがわかりました。詩人としての香月の力量、名聲がひとかたならぬものであつたことの證左と云へるでせう。

このやうな人物によって作られた富士高校歌のことが母校沿革抄に全く載つてゐない現状にはどうしてもの足りなさを覚えざるを得ません。せめて一行、校歌の歌はれた行事と年月を記しておかないと校旗（昭和五年五月制定、と明記）とのつりあひも取れないのではないかと思ひます。

御一考を賜はれば幸甚に存じます。

随想

秀麗富士の下の青春

和田秀樹（高十九回）
静岡大学名誉教授

東京オリンピックは１９６４年（昭和39年）富士高の一年生の時だ。近々２０２０年には、再びこのお祭りが開かれる予定という。フジ山の富士は、不二と通じ二つと無い意味も含むと言う説もあるが定かではない。

そういう中で、富士高屋上から真北にみる富士山の眺めは、紛うことなく世界遺産の理想的な眺望点かと思う。文化遺産でもかまわない、富士山は、それほど人の生活に直結した地位があ

る。そして富士山は活火山であり、今後も十分に活動する危険要因をはらんでいると言う自然だ。

自然は変化する。その変化過程を、世界最大級の人口密集地で観察できる。ひとたび富士の南麓に活動あれば、富士高生は一大スペクタクルを目の当たりにでき実に幸運と知るべし。人は、寿命を頼りに時間軸を持つが、自然の変化の時間軸は、長短が大きすぎる。

現代人は、科学という自然の仕組みを調べる方法を手に入れた。その一つが、時間を精度良く過去にさかのぼって行く方法、年代測定法、特に炭素14法だ。人間社会にとって画期的発見だ。

私の富士山との関係は、１９６０年代終わりに、静岡大でも炭素14法という年代測定法を始めたことだ。大気中にある炭酸ガスには、放射能を持つ炭素が、極々微量どこの大気にも一定にあり、正確に放射能を測定できるようになった。そうして、実験材料に富士山の溶岩に被われた木片や炭の放射性炭素量から噴火が何年前と出す当時最先端の実験が始まる。極めて危険な薬品を大量に使うので、今なら、十分な予備実験や予想される危険に対処する方法など、安全教育を治めることが要求される。

随想

北国に勤務して

小野　剛（高二十回）

私は、昭和50年４月に判事補に任官し、転勤のため東京を中心に全国各地を転々としました。気候温暖な富士市で生まれ育った私は、図らずも静岡とは気象条件が全く異なる北国勤務を３回（青森に１回、旭川に２回）経験しました。

「リンゴ追分」「津軽海峡冬景色」「雪国」などの歌で知られる青森には平成２年４月から３年間勤務しました。今春、北海道新幹線が開通しましたが、当時は新幹線は岩手県盛岡までであり、その先は特急はつかりに乗り換え青森まで２時間かかりました。郷里の富士市では南側に駿河湾があり、北を向けば富士山が見えるので、私には海は南側、山は北側にあるという固定観念がありました。ところが、青森市（人口約29万人）は、南側に八甲田山があり、北側に津軽湾があって、海と山が富士市とは全く逆の位置関係にあり、方向感覚に慣れるまで少し時間を要しました。

青森では長く厳しい冬が明け、桜（弘前城の桜が有名です）の季節が終わると、夏のねぶた祭りの準備が始まります。ねぶた小屋ではねぶた師がねぶた作りに取り掛かり、街中にねぶた囃子

が流れ、人々の生活に活気が出てきます。ねぶた祭りは東北を代表する祭りであり、毎年8月2日から6日間ねぶたの運行が行われ、灯りをともした勇壮で華やかな大型ねぶた20数台が出陣し練り歩きます。参加者・観光客は延べ300万人を超え、その人出にも圧倒されます。跳ね人（ハネト）と呼ばれる踊り子がねぶたの周りを「ラッセラー！」の勇ましい掛け声と共に飛び跳ね、祭りを一層盛り上げます。最終日には海上運行と花火大会が行われ、祭りは最高潮に達します。東北の夏は短く、ねぶた祭りが終わると秋の気配が漂いはじめ青森の街は急に寂しくなります。

静岡には弥生時代の農耕集落・登呂遺跡がありますが、青森には国内最大級の縄文集落・三内丸山遺跡があります。また、版画家の棟方志功は青森出身であり、青森は版画の盛んな街でもあります。青森には十和田湖、奥入瀬渓流、酸ヶ湯温泉、八甲田山、浅虫温泉、下北半島の恐山、津軽半島の金木町にある太宰治の生家・斜陽館など観光の名所が沢山あります。在勤中の休日には各地を訪ねてまわり名所旧跡を写真に収めるなど思い出深い旅ができました。

旭川の裁判所には1回目は昭和59年4月から3年間、2回目は平成22年2月から1年半勤務しました。旭川市（人口約35万人）は、冬季は氷点下の気温が続く厳しい風土の中で発展した道北の拠点都市（北彩都）です。厳冬期のよく晴れた朝など気温が氷点下10℃以下になると細氷が発生します。細氷は、日光で輝いて見えることからダイヤモンドダストと呼ばれます。初回の旭川勤務の際には35歳になって初めてスキー教室に通いスキーを覚えました。夏季休暇には1年目は道東（摩周湖・知床半島）、2年目は道北（利尻島・礼文島・宗谷岬）、3年目は道南（支笏湖・洞爺湖・函館）を家族一緒にマイカーで回り、広大な北海道を3年掛かりで一周しました。

平成26年7月、退官後3年振りに氷点の街・旭川を再訪し、三浦綾子（1922年～1999年）の小説「氷点」の創作ノートを一般公開していた三浦綾子記念文学館を訪ねました。同文学館は小説「氷点」の舞台となった旭川市神楽の外国樹種見本林の中に建てられています。小説「氷点」は、新聞社の1、000万円懸賞小説に応募して入選した三浦綾子のデビュー作品です。養子である陽子が自分の娘を殺した犯人の子供であることを知った養母夏枝の陽子に対する冷たい仕打ちや義理の兄妹間の恋愛感情などを描き、その背景としてキリスト教の「原罪」である愛と罪と赦しをテーマとしています。小説「氷点」は、何回か映画化・

テレビドラマ化されています。三浦綾子記念文学館の館長は、三浦綾子の夫三浦光世氏が務め、同氏は来館者に対し三浦綾子との生活や作品の説明をして三浦文学を伝えてきました。私が訪ねたときも、懇切丁寧に館内を案内していただき恐縮しました。同氏は、病気がちの妻三浦綾子の作品づくりを口述筆記で支え、夫婦愛で三浦文学を紡ぎ出しました。お元気そうに見えた同氏が同年秋に急逝した旨の新聞記事に接したときは本当に驚きました。

三浦綾子の小説「塩狩峠」は、旭川北部の塩狩峠が舞台となっていますが、明治末年、塩狩峠で自らの命を犠牲にして大勢の乗客の命を救った鉄道職員永野信夫（実在のモデルは長野政雄さん）は、もと裁判所の職員でした。私は、乗客のために崇高な犠牲を捧げた元裁判所職員が旭川に居たということに感銘を受けました。ＪＲ宗谷線の塩狩駅の構内には長野さんの顕影碑が立てられています。この小説「塩狩峠」も映画化されました。塩狩駅の近くには三浦綾子の実家の住居を復元した塩狩峠記念館があり、三浦綾子の資料や家具などが展示されています。

昨今、木曽御嶽山の噴火や箱根大涌谷の火山性地震の頻発などを巡る報道がされ、近い将来、富士山の噴火が起こるのではないかと言われることがありますが、三浦綾子の小説「泥流地帯」は、大正15年5月の十勝岳噴火とそれに伴う火山泥流（ラハール）にまつわる物語を描いています。突然の火山爆発で、家も学校も濁流に一気に押し流されてしまいます。上富良野の市街から一里以上も奥に入った日新部落では、貧しさや親の不在にも耐えて明るく誠実に生きている兄弟の上にも泥流は容赦なく襲いかかります。まじめに懸命に生きる兄弟の姿を通じて、人生の試練の意味を問いかける長編小説です。火山爆発により人家を飲み尽くして押し流し、村落を壊滅状態にしてしまう泥流の破壊力はすさまじく、被害の生々しい状況が描写されています。火山国日本では日頃から火山泥流（火砕流・土石流）や溶岩流に対する防災対策を講じる必要があると思います。

平成26年7月に旭川を訪れた際には、レンタカーで、旭岳（大雪山）、上野ファーム、旭山動物園、美瑛・四季彩の丘、富良野のラベンダー畑、新富良野プリンスホテル内の風のガーデンなどを周り、旭川・美瑛・富良野の自然を満喫しました。

このように青森と旭川では、広大な自然と山々の美しい眺めに魅了され、人々の温かい人情に接し、懐かしい思い出が沢山できました。私の北国勤務の体験はいつまでも心に深く残ることでしょう。

同窓会だより

総会を終えて

伊藤　滋章（高二十六回）

《六十歳の節目の年に、十六・十七・十八才の青春を共に過ごした友だちと楽しみませんか!!の会》を前面に出して、僕たちの『富友会総会』への準備が始まりました。

それまでは僕自身、富友会とは何の関係もない人間でした。そう五十八歳の時、同期の小長井君が市長になるまでは。

小長井君とは幼稚園の頃からの友人でした。彼の真面目さが僕は好きです。そんな縁で、彼の選挙を手伝うことになりました。終始苦戦したものの、僕たちの頑張りの甲斐もあって?見事の当選‼その折り「小長井、何でも言え、何でも聞いてやる。」なんて言ってしまい、結局、一緒に小長井君を応援した、伝法泰徳寺の木本鑑乗君と幹事の役を引き受けることになりました。

それからは、もう僕の力ではありません。女子も入れてみんなで集まろうと、三十人を超えるメンバーが二度も三度も集まってくれました。還暦って、一人一人にとって節目に思うんだなぁと実感しました。

そして迎えた当日。それぞれの担当が本当に協力して『富友会総会』を無事に開催することができました。同期の大久保恒夫君（セブン&アイ・フードシステムズ代表取締役社長）による『挨拶で土台をつくる』と題しての講演では、いかに人が大事か、人がすべてであるという話に、会場も静まり返って真剣に聞いていました。僕たち同級生も百六十余名から集まり、総会後の同窓会も大いに盛り上がりました。本当に楽しかった。嬉しかった。

後日行った打ち上げにも、四十名からの仲間が集まってくれました。「さてこれから五年に一回じゃあみんないなくなっちゃうなぁ、三年に一回だなぁ」なんてことを言い合っていました。

僕は本当に嬉しかった。幹事の僕はいるだけで、あとは友人たちがみなやってくれました。木本君ありがとう。小長井君ありがとう。大久保君ありがとう。そして二十六回生の皆様、本当にありがとうございました。僕は幸せでした。

富士高ばんざい！

講師を務めた大久保恒夫君のこと

僕と彼は、高校二～三年とアイウエオ順の伊藤、大久保でずっと机を並べていた。彼の最初の自己紹介がすごかった。「大久保清連続強姦殺人事件、女性八名を次から次へと強姦殺害した大久保清の大久保と、連合赤軍リンチ事件、十二名からの仲間を総括した森恒夫の大久保恒夫です」と言い放った。クラス全員が度肝を抜かれた。

大久保君は当時から大変合理的であった。彼は自宅のある広見から、50ｃｃのバイクで通いだした。悪びれた様子は微塵もない。僕も体育祭の時などには彼（とバイク）を便利に利用させてもらった。写真はその時の看板だ。今や時の人として活躍する彼の姿を見るたびに、当時のことを思い出す。

富嶽祭　富友会展示コーナー

庄司和仁、井出　譲（高二十八回）

平成二十八年六月四日から五日にかけて、富嶽祭がわが母校で開催されました。富友会コーナーは南校舎の三階の28ＨＲでした。前日に高校七回大田昭様を筆頭に「富友会美術同好会」の皆様のご協力をいただき飾り付けをしました。

油絵・水彩画等多くの作品を展示しました。特にシルクに型染めの技法を用いた人物画は、今まで見たことのない作品でした。

事前に出品者の皆様に各作品の思いを出していただきました。この思いをもとにキャプションを作成しました。出品者の皆様の作品への思いが、観覧された方に届いたと思います。

また、高校三十三回の鈴木美晴さんがＮＰＯ法人として活動されている「捨て猫をなくす会」のコーナーを併設いたしました。

ボランティアの皆さんが「殺処分をされる猫を限りなくゼロにする」ことを念

頭に活動されている団体です。

卒業後、初めて二日間富嶽祭に参加し、自分自身の高校時代を振り返ってみました。

今から40年以上前のことです。

まず、教室の窓から焼きそばのいい匂いが漂ってきました。自分たちの時代には……チュロスも大変好評のようで長い列ができていました。

次に各部の皆さんのコスチュームが工夫を凝らしていて楽しく見ていました。美術部の皆さんのお揃いの黒のつなぎ。写真部の皆さんの黒にピンク？のポロシャツ。Tシャツに各部の思いがプリントされていました。

後輩たちがとてもかっこよく見えました。

後輩の皆さんに触発され、富友会コーナーもカフェ気分で作品を観覧していただこうと思い、珈琲メーカーを持ち込んで珈琲のいい香りで展示会を盛り上げようとしたのですが……焼きそばのいい匂いに負けてしまいました。残念。

富友会の展示コーナーの設営・撤去の際にお手伝いいただいた現役の皆さん、そして何かと心遣いいただいた校内幹事の高校二十九回近藤先生には大変感謝しています。

ありがとうございました。

富士高生の底力とパワーを実感した二日間でした。

富士高ＯＧ「朋友会」を「ふじざくらの会」に改名

太田　芙美子（九回生）

富士高女性部「朋友会」は、富士地域の方々を中心に、先輩の皆さまの同窓生としての篤い思いから、平成二年に発足しました。

「朋友会」には特別の規約もなく、先輩後輩の皆さまの親睦をはかり、絆を強めることが目的で、毎年親睦旅行と新春のつどいを開催して、二十五年継続してきました。

今年度は二十六年目の節目になり、これからもっと若い後輩の皆さまと交流の絆を強めるために、改名の声が高まり、話し合った結果、富士高ＯＧ「ふじざくらの会」と名付けました。

「ふじざくらの会」の組織は、今までと変わりなく、土井和子会長を中心に、副会長四名、顧問（歴代会長）、理事（五回生～三十回生、各回二～三名）監事（歴代副会長）で作られています。

新しい内容として「アフタヌーンコンサート」を、昨年十月二十四日土曜日にロゼシアターのレセプションホールで、九十七名の会員と五名の富友会役員の方々をお迎えして、盛大に開催しました。

三名の後輩の皆さまによるピアノとフルートの演奏で、曲目は皆さんにとても親しまれている名曲ばかりでしたので、大変感動しました。ティータイムでは、お茶を飲みながらのお喋りも盛り上がり、

皆さんとゆったりした時間を共有できたことはとても良かったと思いました。

恒例の「新春のつどい」は、今年一月二十三日土曜日に、ホテルグランド富士で一〇二名の会員の皆さまと五名の来賓の方々、そして恩師の吉田実先生は、今年もお元気なお姿が拝見でき、うれしくお話を伺いました。

私達九回生は七名の参加でしたが、卒業以来の友達も横浜からみえて、大変懐かしく高校時代に戻り話に花が咲きました。どこのテーブルからも歓喜の声がしたり写真を撮ったりして、大変盛り上がり、楽しい新春のつどいになりました。

そして、皆さんが楽しみにしている福引きは、色とりどりのきれいなお花で、とても人気があります。

最後に全員で校歌を歌い閉会しました。あっと言う間の二時間で、お名残りおしく、席を変えて別の会場で、続きを語り合う後輩も多く見うけられました。

私も今まで、同級生の皆さまにお会いできるのを楽しみに、新春のつどいに参加してきましたが、二十七年度から年次役員を、清法さんと一緒に協力させて頂くことになりました。

これから同級生の輪作りだけでなく、同窓生として、先輩後輩の皆さまの絆をもっともっと強くしていくことを願っております。ご協力お願いいたします。

高八回代表幹事より

高八回代表幹事　久保田　啓嗣

平成二十八年六月二十六日開催の高八回クラス幹事会は（一）傘寿を来年に控えた今年は簡略な同窓会開催を予定する事にした。十二月三日（土曜日於樟泉閣）。奮って参加して下さい、詳細は逐っての連絡にて。（二）八月二十日（土曜日）の富友会総会及び懇親会には、例年通り十名の参加を勧募することにした。参加出来る幸いを思い、久しく旧交を暖めようではないか。

さて代表幹事西川正良を引き継いだ代表幹事佐野義幸が急逝して、既に六年に成った。西川正良も平成二十五年十月に鬼籍の人になっている。毎年四回（一月、四月、七月、十月）の八日に富士市浅間本町の樟泉閣（三日市の浅間さん）で十一時半頃から、（八回卒の意の）マルハチ会がある。諸々の話題と食事して終わる定例会を続けている。八回卒なら誰でも参加大歓迎で近郷在住の諸兄姉元気なら気分転換に参加お勧めである。

二十六年六月にはいつも同窓会を盛りたてた名物男、元市議、佐野喜貞は六回目マルハチ会に参加出来ずに黄泉への急ぎの旅に立ったのは惜しくも残念であった。マルハチ会は今年七月で十五回目と成る。これまでに散った仲間と佐野義幸、西川正良、佐野喜貞の三君の冥福をここに祈る。

富友会総会懇親会参加に関しての問い合わせは各クラス幹事又は学年幹事久保田啓嗣へ寄せて下さい。

2016富嶽祭　体育の部にて

部活動の記録

佐野舞佳　２年　800m
伊藤夏実　２年　1500m
小林爽月　２年　走幅跳
　　三段跳
依田　悠　２年　三段跳
磯野桂吾　１年　1500m
　　5000m
　　（東海出場）
芦澤敬太　１年　走幅跳
久保田芽実　１年　400mH
北川　鈴　１年　走幅跳
丸山智子　１年　3000m
　　（東海出場）
男子・女子４×100mリレー
男子（三輪・芦澤・山﨑・尾田）
女子（高橋・田中・小林・久保田）
県高校駅伝

運動部

【野球部】

春季大会　東部大会　２回戦敗退
全国高等学校野球選手権　静岡大会
　　１回戦敗退
秋季大会　東部大会　第５位
　県大会　２回戦敗退
富士市スポーツ祭　高校野球の部　優勝

【陸上競技部】

新人戦　県大会出場
服部友亮　２年　800m
西村紗弥　２年　3000m
　　（東海出場）
　　1500m

バスケットボール競技　東部地区予選

1回戦　対富士市立　72対41

2回戦　対韮山　58対46

3回戦　対伊豆中央　37対103

〔9位～10位決定戦〕

1回戦　対富岳館　74対65

2回戦　対日大三島　90対41

〔11位決定戦〕

対吉原　75対94（12位）

平成27年度　東部新人バスケットボール

選手権大会　予選リーグ

対富士宮西　57対28

対誠恵　53対32

対伊豆総合　49対40（1位）

決勝トーナメント

1回戦　対下田　61対60

2回戦　対加藤学園　55対100

〔5位～8位決定戦〕

1回戦　対市立沼津　75対69

〔5位決定戦〕

対韮山　39対44（6位）

【女子バスケットボール部】

4月　インターハイ東部地区予選

富士　42－64　伊豆中央

9月　東部新人選手権

富士　32－74　日大三島

富士　45－66　裾野

富士　80－26　伊東

10月　選抜大会静岡県予選

富士　48－61　藤枝東

男子（磯野・篠原・大岩・加藤・山本・原口・大石）

女子（丸山・西村・青木・植田・伊藤）

【男子ハンドボール部】

静岡県高校総体東部大会　7位

県大会　1回戦敗退

静岡県高等学校新人戦

東部地区大会　3位

【女子ハンドボール部】

高校総体東部予選　優勝

高校総体県大会　3位

高校総体東海大会　ベスト8

高校選手権大会　優勝

高校新人戦東部予選　優勝

高校新人戦県大会　優勝

【男子ソフトテニス部】

第63回高校総体

団体　東部8位　県大会8位

個人　2ペア　県大会出場

新人戦

団体　県4位

個人　3ペア　県大会出場

【女子ソフトテニス部】

新人戦東部地区大会

個人　中山・西山　16位

【男子バスケットボール部】

平成27年度　静岡県高等学校総合体育大会

男子66kg級
西村優希　2回戦敗退
男子100kg級
大見航雅　6位
高校総体　県大会
男子100kg級
大見航雅　1回戦敗退

【剣道部】

インターハイ東部予選
女子団体　12位
個人戦
清　陽子　15位
竹田夏巳　14位
東部選手権
男子団体　6位
富士市スポーツ祭
男子団体　3位
個人戦
小野義虎　3位
新人戦東部予選
男子団体　7位
昇段（剣道）
小野義虎　三段　外木公大　三段
小泉克弥　三段

【卓球部】

静岡県高等学校総合体育大会東部予選
女子　ダブルス
若塚志帆・若塚希帆組
ベスト8　県大会ベスト8
男子　ダブルス

【男子バレーボール部】

春季富士市スポーツ祭　優勝
高校総体東部地区大会　2回戦敗退
静岡県東部地区大会　2回戦敗退
秋季富士市スポーツ祭　第3位
全日本バレーボール高等学校選手権大会
静岡県予選　ベスト32

【女子バレーボール部】

5月　総体東部予選
富士2－0伊東商業
富士2－0沼津西
富士0－2星陵
富士1－2伊東
富士0－2富士宮東
8月　富士宮市バレーボール大会
富士1－2三島北
富士0－2富士見
富士2－0韮山
富士1－2城北
富士0－2御殿場南
富士2－0田方農業
10月　富士市秋季スポーツ祭
富士0－1富士見
富士0－1富岳館
富士2－0吉原
富士2－0富士東
11月　全日本選手権大会
富士1－2焼津中央

【柔道部】

高校総体　東部地区予選

吉田美知花
勝亦恵未
深澤璃衣
クライミングコンテスト９月大会
３位
深澤璃衣
県高校クライミング競技大会
３位
深澤璃衣

【水泳部】

静岡県東部高等学校総合体育大会水泳競技
1500m自由形
８位　３年　平林大樹
200mバタフライ
８位　２年　髙木　菖
200m平泳ぎ
８位　２年　望月大瑚
200m個人メドレー
８位　３年　松尾翔太
400m個人メドレー
７位　１年　棚橋　愼
100m背泳ぎ
６位　３年　梶　真澄
男子400mメドレーリレー
８位　平林・望月・松尾・矢口
男子400mフリーリレー
５位　平林・松尾・矢口・荻原
男子800mフリーリレー
５位　矢口・荻原・松尾・平林
総合成績　男子　６位
静岡県東部高等学校新人水泳競技大会
近藤伊佐直・長島瑞輝組
ベスト32　県大会出場
女子　シングルス
若塚志帆　ベスト16
県大会ベスト32
若塚希帆　ベスト16
県大会ベスト32
女子　学校対抗
３位　県大会ベスト８
全日本卓球選手権ジュニアの部東部予選
女子　シングルス
若塚志帆　ベスト16
県大会ベスト64
若塚希帆　ベスト16　県大会進出
佐野友紀　ベスト48
県大会ベスト64
土屋季穂　ベスト48　県大会進出
静岡県高校新人選抜卓球大会東部地区予選
女子　学校対抗
３位
県大会６位

【山岳部】

県総体登山競技　男子　６位
松井将哉
小林右京
廣中勇太
島田祐希
県総体登山競技　女子　３位
東海高等学校総合体育大会
登山大会女子　２位
松永佳子

２年の部
ダブルス　田邉・保科ペア　ベスト16
矢口・奥山ペア　ベスト16
１年の部
シングルス　鈴木　諒　優勝
影嶋亮太郎　ベスト８
学校対抗戦　7位
新人戦県大会
１年の部
ダブルス　鈴木　諒・本多ペア　ベスト８

【女子バドミントン部】

新人戦東部大会
学校対抗
１回戦　富士３－２沼津商業
２回戦　富士０－３富士見
順位戦　富士０－３富士東
富士３－２吉原
７位で県大会出場
ダブルス
泉谷吏咲　清　愛美　東部10位
県大会出場

文化部

【吹奏楽部】

第49回静岡県管打楽器
アンサンブルコンテスト
東部大会　４団体　金賞
３団体県大会出場
県大会　サクソフォン五重奏　金賞

1500m自由形
９位　２年　廣住燎亮
100mバタフライ
８位　２年　髙木　菖
９位　１年　佐野元哉
200mバタフライ
７位　１年　佐野元哉
100m背泳ぎ
９位　１年　大八木雄登
200m背泳ぎ
７位　１年　大八木雄登
100m平泳ぎ
７位　２年　望月大瑚
200m平泳ぎ
５位　２年　望月大瑚
200m個人メドレー
７位　１年　棚橋　愼
400m個人メドレー
６位　１年　棚橋　愼
男子400mメドレーリレー
７位　大八木・望月・棚橋・金指
男子800mフリーリレー
７位　廣住・望月・髙木・金指

【男子バドミントン部】

県選手権大会
新人の部　東部予選
シングルス　鈴木　諒　準優勝
影嶋亮太郎　ベスト８
新人の部　県大会
シングルス　鈴木　諒　３位
新人戦東部大会

木内弘典　髙木優一郎　宮崎太希

男子個人の部

木内弘典　東部３位

（県大会出場）

髙木優一郎　東部５位

（県大会出場）

【将棋部】

第26回静岡県高等学校将棋新人戦

東部地区大会　団体戦　６位

【美術部】

静岡県高等学校美術・工芸展

東部展

特選絵画「正と負」

１年　前田蒼生

入選絵画「アフリカ」

２年　伊藤瑞季

絵画「騒動と静寂」　２年　中野かえで

絵画「途上」　２年　山﨑さくら

絵画「越冬」　１年　櫻田祐理

絵画「終末論」　１年　望月紅葉

絵画「予感」　１年　山田麻友香

絵画「黎明」　１年　青木円香

県展

優良賞絵画「正と負」　１年　前田蒼生

平成28年度全国高等学校総合文化祭

美術・工芸部門出品

国際ソロプチミストアートコンテスト

部門４（16～18歳）

優秀賞「見習いサンタと雪だるま」

２年　山﨑さくら

フルート四重奏　銀賞

木管七重奏　銅賞

個人重奏コンテスト

県大会　金管八重奏　銀賞

トロンボーン三重奏　銀賞

金管四重奏　銅賞

第57回静岡県吹奏楽コンクール

東部大会　金賞

県大会　銅賞

第23回静岡県高等学校吹奏楽祭

優秀賞

【演劇部】

富士・富士宮地区高校演劇合同発表会

高泉淳子・伊沢磨紀作

「モンタージュ　－はじまりの記憶」

優秀賞受賞　県大会出場

第39回静岡県高等学校演劇研究大会

優秀賞受賞　関東大会出場

【囲碁部】

静岡県高等学校囲碁選手権大会

男子団体の部

富士高Ａ　３位（県大会出場）

木内弘典　佐藤尚輝　諸戸恒紀

男子個人の部

木内弘典　５位（県大会出場）

十三路盤の部

鈴木悠斗　２位（県大会出場）

静岡県高校総合文化祭囲碁部門

男子団体の部

富士高Ａ　３位（県大会出場）

C級　澄田理子　優勝

第37回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会

団体戦

全国２回戦敗退（静岡県予選優勝）

個人戦　B級　田ノ下由莉菜　4位

D級　本田詩温　2位

佐藤のぞみ　2位

青島秀悟　3位

第39回全国高等学校総合文化祭

小倉百人一首かるた部門

住吉貴浩、石丸実奈、田ノ下由莉菜

静岡県代表として出場

第23回全国高等学校小倉百人一首

かるた読手コンクール

望月あかり　8位

第２回静岡県小倉百人一首かるた初心者大会

D級　川内琢未　優勝

望月菜々子　優勝

第27回静岡県高校かるた選手権大会

団体戦　富士高校A　優勝

富士高校B　7位

第27回静岡県高校かるた新人大会

団体戦　富士高校B　2位

富士高校A　3位

富士高校C　7位

【写真部】

平成27年度静岡県東部高等学校写真連盟

第１回コンクール

特選

「駆ける（かける）×賭ける」　37HR　白倉智基

「バックストローク」　28HR　梁　瑗眞

地域イベントでのパフォーマンス

静岡県母親大会（富士高校にて）

富士山紙フェア（ふじさんメッセにて）

【百人一首部】

第96回全国百人一首かるた競技横浜大会

B級　住吉貴浩　2位

D級　鈴木真由　優勝

第68回全国かるた競技東京東会大会

B級　住吉貴浩　3位

C級　鈴木康照　3位

勝俣友貴　3位

渡邉綾太　3位

第65回全国かるた競技東京白妙大会

B級　住吉貴浩　2位

小長谷咲紀　4位

C級　荒岡海斗　3位

D級　加藤梨子　2位

第48回全国かるた競技静岡大会

C級　小浜龍星　優勝

望月美奈　2位

酒向玲都　2位

鈴木真由　3位

D級　實近明莉　2位

澄田理子　2位

第73回全国競技かるた桑名大会

D級　長　歩佳　優勝

第86回全国かるた競技学生選手権大会

B級　小浜龍星　3位

C級　布施谷綺子　優勝

第29回全国かるたさがみ野大会

B級　小長谷咲紀　3位

「輝く願い」　15ＨＲ　佐野真彩

いのち・ふれあいフォトメッセージコンテスト

入選

「世代をつなぐ」　25ＨＲ　山口あすか

平成27年度静岡県東部高等学校写真連盟

第３回コンクール

特選

「巨塔」　28ＨＲ　森下太郎

「ヘディング～ボール待ち～」

28ＨＲ　梁　瑗眞

「号泣」　25ＨＲ　山口あすか

「目に水が！」　14ＨＲ　山本珠希

「対面」　11ＨＲ　小崎詩乃

「背負う」　15ＨＲ　佐野真彩

入選

「大繁盛」　28ＨＲ　梁　瑗眞

「真夜中の煌めき」　28ＨＲ　森下太郎

「Smile in autumn」　27ＨＲ　三村明穂

「幸せな日曜日」　27ＨＲ　三村明穂

「ぬくもり」　28ＨＲ　岡本圭央

「意地の争い」　15ＨＲ　甲斐一生

東海学生写真コンクール

入選

「勝利の４秒前」　17ＨＲ　深井秀昭

第59回富嶽祭文化の部

富嶽大賞

【書道部】

第68回静岡県書道連盟書き初め展

県教育長賞　植松茉莉也

県文化協会長賞　松下　雅

富士市長賞　田代小百合

「繋ぐ」　17ＨＲ　深井秀昭

入選

「倒れろ」　25ＨＲ　山口あすか

「眼差し」　28ＨＲ　岡本圭央

「一望千里」　28ＨＲ　森下太郎

平成27年度静岡県東部高等学校写真連盟

第２回コンクール

特選

「holiday」　28ＨＲ　岡本圭央

「Metallic Lights」　28ＨＲ　森下太郎

入選

「應援團の夏」　25ＨＲ　山口あすか

「甘い香りに誘われて」　27ＨＲ　三村明穂

「えいっ！」　27ＨＲ　三村明穂

「知恵の翁」　28ＨＲ　岡本圭央

「放課後の時間」　28ＨＲ　梁　瑗眞

第33回静岡県高等学校写真コンクール

中日新聞社賞

「日曜の赤レンガ」　15ＨＲ　佐野真彩

奨励賞

「倒れろ。」　25ＨＲ　山口あすか

入選

「Metallic Lights」　28ＨＲ　森下太郎

「バックストローク」　28ＨＲ　梁　瑗眞

「All For One」　15ＨＲ　甲斐一生

「当たり矢」　15ＨＲ　佐野真彩

優秀校に選出

グランシップ静岡の魅力

第８回フォトコンテスト

佳作

「雨あがり」　25ＨＲ　山口あすか

「追憶」　28ＨＲ　岡本圭央

【新聞部】

静岡県学校新聞コンクール　最優秀賞
全国高校新聞年間紙面審査　6位
全国高校新聞コンクール　6位

【自然科学部】

科学の甲子園県予選　8位・14位・22位
理科研究発表会　東部大会　最優秀賞
米の宮ぐるん・ぱ　ピタゴラショー
生物オリンピック予選出場

【映画研究同好会】

富嶽大賞
ＮＰＯ法人映画甲子園主催 eiga worldcup 2015
地域作品部門　最優秀賞

第60回新春書作展
県教育研究会理事長賞　植田　遥
優秀賞　米山加笑
木下綺菜
瀧本萌子

第34回全国橘花書道展
条幅の部
大　賞　静岡市日中友好協会長賞　田代小百合
準大賞　静岡県書道連盟理事長賞　松下　雅
静岡県書道教授会会長賞　内田さつき
静岡市書道協会長賞　植松茉莉也
吉川葉月
半紙の部
大賞　焼津市教育長賞　渡邊あすか
準大賞　静岡県書道連盟理事長賞　植田　遥
焼津市文化連盟会長賞　米山加笑

第68回静岡県書道連盟書き初め展
県知事賞　松下　雅
県議会議長賞　樫原　舞
富士市長賞　植田　遥

第61回新春書作展
県東部会長賞　松下　遥
優秀賞　出　千紘
松田知佳

表紙写真を提供していただけませんか？

富友会会誌の表紙になる富士山の写真をお持ちの方、御提供下さい（縦長の構図で、初夏のものを希望します）。来年５月までに富友会校内幹事までお寄せ下さい。

合格を勝ち取るには

例年より少し早く桜の開花の知らせが届き、暖かい陽ざしに春の到来を感じるこの時期に平成28年度入試が終わり、卒業生はそれぞれの道を歩き出しました。

この学年の生徒には、入学時から計画的・持続的な学習の重要性を説明し、学年全体での指導のもと、学習計画表を活用することで家庭での学習時間確保に努めてきました。2年時には朝のSHRの5分を使って「朝学習」を行い、基礎の徹底や学習意欲の向上を図りましたが、生徒達は勉強だけでなく部活動にも忙しい毎日の中で我々の指導によくついてきてくれたと思います。

3年間の指導を終えた今、合格を勝ち取った生徒達に共通していたことは何だったのか、もしくは何が必要だったのか、あらためて考えてみました。

まず、合格したどの生徒も受け身ではなく主体的な学習ができていたと思います。彼らは与えられた課題だけで終わることなく、毎日の学習の中で苦手な教科や分野を見極め、弱点を克服するためにはどうすべきかを考えて学習方法を工夫したり、教科の先生に助言を求めたりしていました。大切なのは何をいつどのように進めるのかを具体的に考えて確実に実行していくことです。

また、日常の様々なことへの興味・関心を持ち、多くの体験をしている人は物事を多角的に捉えたり、あるいは深く掘り下げて考察したりする力を養うことができると思います。学びを支えるのはもちろん毎日の授業ですが、知識は教科書から得るだけではありません。書物や新聞を読み、テレビなどのメディアやインターネットなども有効に活用し、自分達の身の周りのことから社会問題に至るまで幅広い知識と問題意識を常に持ってほしいと思います。

そして、一人一人が志望校合格への強い思いを持って諦めずに頑張り続けたことが合格に結びついたのは言うまでもありません。27年度卒業生も直前補講にほとんど休むことなく参加し、入試本番直前まで様々な問題を解くことで自信をつけ、また、小論文や面接、英作文の個別指導に熱心に取り組んだ結果、見事に合格を勝ち取ることができました。

富士高には「富士高団体戦 五ヶ条」があります。

1　遅刻・早退・欠席をしない。
　健康管理と時間の厳守に心がける。
2　授業を大切にする。部活・行事を大切にする。
　悔いを残さない毎日にする。
3　責任ある個人戦なくして団体戦はありえない。
　わいわい机を並べて勉強している振りをするのが団体戦ではない。
4　仲間の存在を忘れない。
　自分ひとりが悩んでいるのではない。周りにいる富士高の仲間がみな不安を抱きながら頑張っていることを忘れてはならない。
5　最後まで粘り強く闘い抜く。
　途中で闘いをやめてはならない。ひとりで闘っているのではない。仲間も家族も先生方も共に闘っているのだ。自分勝手な途中下車は駄目だ。

受験は個々の進路実現を目指すためのものですが、その長く苦しい道のりは指導する教員、競い合いかつ励まし合う仲間、応援してくれる家族など多くの人達に支えられています。くじけそうになった時、周りで支えてくれている人達の存在が諦めずに頑張ろうという力を与えてくれるのです。仲間と励まし合い、志望校合格目指して最後まで取り組む姿勢こそが「富士高団体戦」のあるべき姿であり、27年度卒業生についても、「富士高団体戦」で闘った結果、最終的に200を超える国公立大学合格者数を出すことができたのだと思います。

3年生諸君、可能性に挑戦する1年がいよいよ始まりました。君達もこれまでの先輩達に続き、「富士高団体戦」の選手の一人として仲間とともに最後まで頑張り、志望校合格を勝ち取ってください。

旧3年部学年主任　白石　実里

合格者数一覧

	現役		既卒者		現・既計		計	
大学種別コード	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)
国立大学	164	(180)	8	(20)	172	(200)	220	(243)
公立大学	42	(41)	6	(2)	48	(43)		
私立大学	733	(753)	54	(82)	787	(835)	787	(835)
国公立短期大学	2	(1)	0	(0)	2	(1)	4	(2)
私立短期大学	1	(1)	1	(0)	2	(1)		
文科省所管外大学	0	(0)	1	(1)	1	(1)	1	(1)
各種学校・専修学校	5	(4)	0	(0)	5	(4)	5	(4)
総計	947	(980)	70	(105)	1,017	(1,085)	1,017	(1,085)

大学別＼入学年度・現・既別	28年度 現	28年度 既	27年度 現	27年度 既	26年度 現	26年度 既
女子栄養		1	2			
白百合女子	1		1		2	
成蹊	6		7		9	
成城	6		4		3	
専修	22		8	2	15	1
創価	1				1	
大東文化	2		9		1	
拓殖	1					
玉川	4		6	1	8	
中央	25	2	18	2	16	
津田塾	7		5		7	
帝京	2	1	3		3	
東海	9		9		3	
東京医科					1	
東京家政	3		4		1	
東京経済	4		1	1	3	
東京工科	7		5	1	2	
東京慈恵医科				2	1	
東京女子	11		12		11	
東京女子医	1		1		1	
東京電機	14		12	2	9	
東京農業	8	1	17	3	8	
東京薬科	1	1	1	2	1	
東京都市	29	2	8	2	13	
東京理科	27	6	35	5	29	1
東邦	1	1	5	1		
東洋	17		32	1	7	
日本	29	3	18	6	25	
日本獣医生命			1			
日本歯科					1	
日本社会事業	2				2	
日本女子	11	1	13		10	
日本女子体育					1	
日本体育					1	
日赤看護	1					
法政	33	7	29	2	36	3
星薬科					1	
武蔵野	11		7		1	1
明治	23	3	32	4	28	1
明治学院	31	1	12	2	23	
明星					1	
明治薬科	4					
立教	13	1	17		22	
立正	3					
早稲田	1		14	3	10	2
学習院女子					1	
麻布	1		1		3	
神奈川	11		13	1	13	
神奈川工科	4		8		4	

大学別＼入学年度・現・既別	28年度 現	28年度 既	27年度 現	27年度 既	26年度 現	26年度 既
鎌倉女子	1		1		1	
関東学院	2		1		4	
相模女子			4			
聖隷マリアンナ医科		2				
鶴見					2	
桐蔭横浜					1	
東洋英和	1				2	
フェリス女子					3	
横浜薬科	1					
横浜創英			1			
新潟薬			1			
新潟青陵	1					
北陸			1			
金沢工業	5				3	
諏訪東京理科			1		1	
健康科学	1				3	
山梨学院					1	
岐阜聖徳学園	1		1			
岐阜医療科学					2	
中部学院			1			
静岡理工科	2		1		2	
聖隷クリスト	4		2		7	
常葉	91		80	2	35	1
静岡英和学院	1				2	
浜松学院			1			
静岡福祉			2		1	
愛知			1		1	
愛知医科	2			1		
愛知学院			2		2	
愛知工業	1	1	2		1	
愛知淑徳	1					
愛知みずほ					1	
金城学院			1			
椙山女学園			1			
中京	4		7		8	
中部		1	3		3	
東海学園					1	
名古屋外語	1		3		2	
名古屋女子	1					
豊田工業		1				
南山	2		4		3	1
日本福祉	2		1		6	
藤田保健衛生		1	4	1	10	
名城	4		5		12	3
豊橋創造					1	
鈴鹿医療科学			3		3	
名古屋文理	2					
名古屋学芸	1					
四日市看護					1	

大学別＼入学年度・現・既別	28年度 現	28年度 既	27年度 現	27年度 既	26年度 現	26年度 既
京都外語	1		1			
京都女子	7		1		1	
京都光華女子	1					
京都薬科						2
同志社	5	2	5	3	5	1
同志社女子	2		3		6	
立命館	24	5	24	2	27	1
龍谷	1				1	
大阪工業	2					
大阪電気通信	1					
関西	2		5	1	3	
関西外語			3		1	
近畿	9		3	3	7	
関西学院	2		3		1	
神戸学院	3		2			
神戸芸術工科					1	
天理			1			
武庫川女子	1					
奈良	1					
畿央			1			
就実						1
岡山理科	4		2			
山口東京理科				1		
福岡			1			1
〈私立大学合計〉	733	54	755	82	670	23

【短大・準大・専修】

防衛大学校		1			1	
水産大学校				1		
国立看護大学校					1	
職業能力開発大学校					1	
静岡県大短大部	2		1		1	
青山学院女子短大部					2	
上智大短大部	1				1	
東京農大短大部			1		1	
東京家政短大部		1				
常葉大短大部			1			
東邦大学佐倉看護専門学校			1			
聖隷大町臨床検査専門学校			1			
愛北看護専門学校			1			
金沢医療付属看護専門学校	1					
石川県立総合看護専門学校	1					
東海医療工学専門学校	1					
静岡市立看護専門学校	2					
静岡医療秘書学院			1			
〈短大等合計〉	8	2	7	1	8	0

大学別合格者数（延数）

大学別＼入学年度・現・既	28年度 現	28年度 既	27年度 現	27年度 既	26年度 現	26年度 既
【国立大学】						
北見工業			1			
北海道	5	1	5		4	1
北海道教育	2			1		
弘前			1			
東北	12		6	2	9	3
宮城教育					1	
秋田	2					
山形			1	1	2	
福島	1				1	
茨城	3		6	2	4	
筑波	1		4			
宇都宮	1		2		1	
群馬	1		2	1	1	
埼玉	2		1		3	
千葉	12		10		6	1
東京海洋			1		2	1
お茶の水女子			1		3	
電気通信	1		4	1	2	
東京	2	1	4	1	1	1
東京医歯			1	1		
東京外語	1		2		3	1
東京学芸	2		3		6	1
東京工業	1					
東京農工	3		8		3	
一橋					1	
横浜国立	5	2	10		3	
上越教育	1					
新潟	2		2		3	
富山	1		2			
金沢	7		5	1	3	
福井	3		1		2	
山梨	5		13		4	
信州	9		3		11	
岐阜	2		3		1	
静岡	35	2	44		32	
浜松医科	7		5		5	1
愛知教育	2		1		1	
名古屋	13		7	1	13	
名古屋工業	1		1		2	
滋賀	1					
三重			3		1	
京都		1	2	1	4	
京都工芸繊維	1					
大阪	1		4	1	1	1
大阪教育	1					
神戸	1		1			
奈良女子	2		2		4	
和歌山	1					
鳥取	1			1	3	
島根大			1			
岡山	1		1			
広島	6		2	2	2	
山口	1			1	1	
徳島			1	1		
愛媛	1	1	1			
九州			1		3	
長崎			1	1		
鹿児島	1					
〈国立大学合計〉	164	8	180	20	152	11
【公立大学】						
秋田県立	1				1	
県立米沢栄養	1					
宮城			1			
会津	1					
群馬県立女子	1	1	1		1	
高崎経大	1	2	5		2	
首都大東京	4		10		5	
神奈川保福		1	2			
横浜市立	2		2	1	4	
新潟県立			1			
石川県立	1					
福井県立			1			
山梨県立	2		2			
都留文科	2				1	
長野県立看護					1	
静岡文化芸	5	1	2		3	
静岡県立	14		9	1	8	1
名古屋市立				1		1
京都府立					1	
大阪府立	3					
大阪市立					1	
兵庫県立	2	1	1		1	
神戸市外語		1				
香川保健医療			1			
島根県立	1					
岡山県立			1		2	
県立広島			1			
尾道市立					1	
高知工科	1					
〈公立大学合計〉	42	7	40	3	32	2
【私立大学】						
酪農学園	1			1		
北海道医療				1	2	
北海道科学			1			
仙台			1			
国際医療福祉	2		3		4	
自治医科					1	
埼玉医科		1		1		
城西		1			2	
明海				1	2	
獨協医科	1					
獨協			5	1	3	1
文教	4		9		4	
目白					1	
日本薬科			1		1	
日本医療科学			1			
神田外語	2		1		1	
城西国際			1			
国際武道					1	
千葉工業	22		12	6	6	
帝京平成	1					
千葉科学	1					
中央学院					1	
和洋女子			1			
青山学院	11	4	10	4	17	
桜美林	2					
大妻女子	1		1		3	
学習院	6		2			
北里	5	1	19		11	
共立女子	1		4		4	
杏林	3		4		5	
慶應	2		10	2	7	
工学院	6		11	2	7	
国学院	3		9		3	
国士舘	2		1		6	
駒澤	19	1	13		5	
駒沢女子	2					
実践女子	10		5		6	
芝浦工業	31	1	48	4	30	
順天堂	7		8	1	9	
上智		1	6		2	
昭和			1	1	3	
昭和女子	3		6		7	2
昭和薬			1			

最近３年間の卒業生の合格状況

１．合格状況の分析

(1) 国公立大学

2016年度の国公立大学の入学は、昨年度から始まった新課程入学に全面移行がなされ、センター試験も二次試験もその特色がはっきりと出始めた入試になった。またそれに呼応するように国公立大学の学部学科再編が相次ぎ、地元静岡大学や県立大学も定員や入学科目の変更がなされ、倍率や動向の見えにくい入試となった。そうした今年の本校の国公立大学現役合格者数は、前期164名、中・後期42名、合計で206名という結果であった。後期定員枠に縮小傾向が加速する状況で、周囲が次々と私大の合格や前期国公立大への入学を手にしている中、不安な気持ちを抱えながら歯を食いしばって後期へと果敢にチャレンジして合格を勝ち取ってきた生徒諸君を職員は誇りに思っている。

その一方今年の入試で反省すべき点は、秋口あたりのリサーチから文系の人気低下に歯止めがかかり、学部再編により教育学部ゼロ免課程の廃止や文系学部から理系学部への定員シフトが進むということが言われていながら、本校の特に文系の生徒たちのセンター得点を上手く伸ばしきれなかった点である。かなりの記述力がありながら、志望の大学にチャレンジするにはややセンター得点が不足するという生徒が見受けられた。たかがマークと思われるが、7科目をまんべんなく取りきるということは容易なことではない。国公立大学に合格するには、センターと二次学力の両方が安定しなければ受からない。どちらも三年間の高校生活で地道に積み上げ、そしてタイミングよく仕上げていく力と言える。

難関国公立大学の結果　（　）は昨年度人数。
東京３名(4)　京都１名(2)　医学部医学科６名(5)
東京工業１名（0）大阪１名（4）　東北12名（6）
名古屋13名（7）　北海道５名（5）　九州０名（1）

(2) 私立大学

今年の私大入試の特徴としては、近年易化してきた感のあったMARCHクラスや日東駒専クラスの合格がしにくくなった点にある。背景としては、募集定員以上に過剰な水増し合格に規制がかかったためと言われている。この傾向は今後も続いていくだろう。入試プランを丁寧に立案していく必要がある。

難関私立大学の結果
早稲田１名（14）　慶応義塾２名（10）
東京理科27名（35）　立教13名（17）
明治23名（38）　上智０名（6）同志社５名（5）
立命館23名（24）

２．校種別合格者延数

校種 ＼ 現・既別 ／ 入試年度	国立大 現役	国立大 既卒者	公立大 現役	公立大 既卒者	私立大 現役	私立大 既卒者	短大・準大・各種 現役	短大・準大・各種 既卒者	合計 現役	合計 既卒者
平28年度	**164**	**8**	**42**	**6**	**733**	**54**	**8**	**2**	**947**	**70**
平27年度	180	20	41	2	753	82	7	1	981	105
平26年度	152	11	32	2	669	22	8	0	861	35

３．校種別・系統別による現役合格者延数

校種 ＼ 系統 ／ 入学年度	人文			法・経・商・社会			理工			医歯薬医療			教育		
	28	27	26	**28**	27	26	**28**	27	26	**28**	27	26	**28**	27	26
国立	**23**	18	14	**15**	20	27	**79**	76	58	**12**	17	13	**30**	34	24
公立	**16**	15	10	**9**	11	4	**7**	4	4	**7**	10	11	**0**	0	0
私立	**215**	178	118	**149**	135	175	**211**	244	204	**55**	68	98	**61**	58	27
国公私立短	**1**	0	3	**1**	0	1	**0**	1	0	**0**	1	0	**1**	0	0
準大・各種	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	2	**4**	4	1	**0**	0	0
合計	**255**	211	145	**174**	166	207	**297**	325	268	**78**	100	123	**92**	92	51

校種 ＼ 系統 ／ 入学年度	農水産			家政			その他			合計		
	28	27	26	**28**	27	26	**28**	27	26	**28**	27	26
国立	**5**	13	8	**0**	2	2	**0**	0	6	**164**	180	152
公立	**1**	1	0	**1**	0	2	**1**	0	1	**42**	41	32
私立	**22**	42	26	**20**	28	20	**0**	0	2	**733**	753	670
国公私立短	**0**	0	1	**0**	1	0	**0**	0	0	**3**	3	5
準大・各種	**0**	0	0	**0**	0	0	**1**	0	0	**5**	4	3
合計	**28**	56	35	**21**	31	24	**2**	0	9	**947**	981	861

静岡県立富士高等学校・旧制富士中学校卒業生
人材の情報提供のお願い

本校の卒業生も30,000余名を数え、多くの方々が各界で活躍されています。本校同窓の方々による母校のためへの有形無形の御協力に対して、心より感謝申し上げます。在校生にとっては、諸先輩方の活躍ぶりを見聞きすることで、母校愛を深めるとともに進路選択にも大きな目標となっています。

現在本校では、卒業生やPTAの方々を講師に迎え、「進路講話」を実施しています。また、大学訪問や進学相談等でも諸先輩方の話を伺うこともあります。これらの機会は生徒にとってたいへん貴重なことで、進路決定にたいへん役立っています。そこで、今後も進路指導や教科指導さらにPTA活動などで御協力いただきたく、各界で御活躍されている本校卒業生の方々のデータベース化を進めたいと思います。つきましては、下表のような形式でファックス・郵送などにて情報を寄せていただければ幸いです。

また、お寄せいただいたデータにつきましては、①富士高生に対する講話等の依頼以外には利用いたしません。②講演等を依頼する場合には、学校が責任を持って改めて御本人に了解を取ります。

（富士高校進路課）

項　目	内　　容
1	大学・諸機関で教育・研究職にいる方
2	上場企業等の経営者など
3	文化活動・執筆・芸能界・スポーツ等で活躍の方
4	国・地方自治体で活躍の方
5	その他

注意事項：本校卒業と公表されてもよい方を御紹介ください。
自薦他薦を問いません。
情報を提供してくださる方の連絡先もお知らせください。

該当者氏名	本校卒業年次	活　動　内　容	連絡先など

郵送の場合　〒416-0903　富士市松本17　富士高校　進路課（望月伸）宛
FAXの場合　0545-64-7349　富士高校　進路課（望月伸）宛

事務局より

毎年お願いしております富友会・クラブ後援会賛助金は、昨年度一、〇六〇名の皆様にご協力いただきました。大変有り難く思っております。

今後とも富友会の活動にご理解いただきますようお願い申し上げます。

振り込め詐欺にご注意下さい

振り込め詐欺につきましては、この数年報告は受けておりませんが、相変わらず県内の高校で名簿を悪用したと思われる被害が発生しています。「携帯電話が壊れた」などという電話は詐欺と思い、警察に通報して下さるようお願いします。

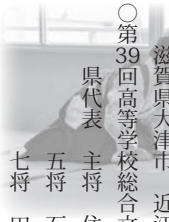
富友会ホームページの立ち上げ

富友会のホームページが出来ました。富士高校のホームページと富友会のホームページとリンクしています。是非ご覧下さい。各支部・各年次の活動等の紹介・情報発信も出来ます。積極的にご活用下さい。

http://www.fuyu-kai.com/

平成27年度全国大会出場部活動

○第37回全国高等学校
小倉百人一首かるた選手権
団体出場　住吉　貴浩・石丸　実奈
山﨑友理乃・田ノ下由莉菜
小長谷咲紀・小浜　龍星
酒向　玲都・荒岡　海斗
7月19日（日）・20日（月）
滋賀県大津市　近江神宮勧学館ほか



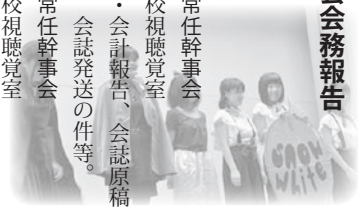
○第39回高等学校総合文化祭滋賀大会
県代表　主将　住吉　貴浩
五将　石丸　実奈
七将　田ノ下由莉菜
7月29日（水）～31日（金）
滋賀県守山市民体育館

○第39回高等学校総合文化祭滋賀大会
新聞部門
山田　安理・梶山　未歩
7月29日（水）～8月1日（土）
滋賀県立文化産業交流会館
○定時制（11人）
柔　道　河津サユリ（女子中量級）
大賀　稜也（男子団体戦）
陸上競技　宮田　隆生（走り高跳び）
青木　一真（3、000m障害）
福島　俊
（4×100mリレー）
自転車競技　ロードレースの部
増田　拓海・小山　真輝・吉田　凌
伊佐治秀幸・秋田　千夜・福島　俊

以上の部と個人には部活動奨励金を授与しました。

平成27年度　富友会会務報告

平成27年



4月30日（木）第1回常任幹事会
富士高校視聴覚室
会務・会計報告、会誌原稿依頼、会誌発送の件等。
5月28日（木）第2回常任幹事会
富士高校視聴覚室
会誌原稿回収、総会関係、富嶽祭展示内容等。
6月6日（土）東京支部「春の集い」
中央大学駿河台記念館
小室会長、井上幹事長出席。

6月6日（土）富嶽祭展示
7日（日）担当：高校27回
6月18日（木）富士宮支部総会
ゲストハウス　コラボ
小室会長、井上幹事長、寺田副校長出席。
6月27日（土）庵原支部総会
小室会長、岩城校長出席。
6月29日（月）第3回常任幹事会
富士高校視聴覚教室
総会関係・チケット代集金等。
7月17日（金）部活動奨励金授与式
富士高校会議室
小室会長出席。
7月31日（金）本部役員会
富士高校会議室
役員体制、事業計画、予算案等。
8月22日（土）富友会総会
ホテルグランド富士
会務・会計報告、事業計画等
講演会：大久保　恒夫氏
懇親会　担当：高校26回
11月9日（月）本部役員会
富士高校会議室
組織体制の強化、ホームページ起ち上げ等。
11月13日（金）富士支部総会
ホテルグランド富士
田辺名誉会長、小室会長、岩城校長出席。

平成28年

1月23日（土）富士桜の会（旧朋友会）
ホテルグランド富士
小室会長、井上幹事長出席。
1月25日（月）本部役員会
富士高校会議室
ホームページ起ち上げ、戸塚先生顕彰事業等。
2月5日（金）首長・議員・行政職の会
起ち上げ
かっぽう角山
2月29日（月）富友会入会式
富士高校体育館
入会の言葉：学年幹事長・廉　東奇。記念品贈呈。
小室会長他役員7人出席。
富友会奨学金授与式
富士高校会議室
奨学生：全日制6人、定時制4人。　太田副会長出席。
3月31日（木）富友会ホームページ開設

事務局だより

○卒業年次毎のタックシールを印刷します。同窓会等の案内にご利用下さい。料金は一、五〇〇円です。また、八十周年記念の「校歌・応援歌」のCDを五〇〇円で販売しています。どちらも事務局までご連絡下さい。

○同窓会開催時の写真を募集します。来年度の会誌に掲載したいと思います。開催日時場所・名称等を付けて事務局まで送付して下さい。

○校内幹事の異動について

この春の校内幹事の異動は次の通りです。

転出　なし

転入

青木　照明（34回　数学）富岳館高校

三澤　百合（42回　国語）吉原高校

校内幹事は、現在二十一名です。校内事務の取りまとめは近藤成文（29回）が行います。よろしくお願いします。

平成27年度　富友会寄付年次別一覧（平成28年３月31日現在、単位：千円）

年次(中学)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18(15)	18(43)	19	20	21		
寄　付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	10	12	14	16	10	24	14	12	18		
年次(高校)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
寄　付	26	36	49	41	68	56	78	50	56	72	67	66	44	56	56	40	46	50	48	65	50	30	49	54
年次(高校)	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
寄　付	24	36	32	18	34	28	30	38	34	20	16	20	26	8	20	10	17	12	8	12	6	8	12	6
年次(高校)	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	定	一般	計	
寄　付	4	2	2	8	10	6	8	4	6	10	10	4	6	20	16	16	20	34	62	0	64	5	2,179	

総件数　1,056件　　合計　2,179,000円

平成27年度　富友会　収支会計報告

一、収支計算書（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

（単位　円）

科　　目		金　額	備　　考
Ⅰ　事業活動収支の部			
1　事業活動収入	①入会金収入	1,662,500	全日制￥5,000×325 名　定時制￥1,500×25 名
	②賛助金収入	2,055,548	
	③名簿売上収入	1,329,000	
	④各種代金収入	3,000	タックシール代金
	⑤雑収入	24,415	定期・普通預金利息、３年生学年会計残金、個人寄付金（吉田実様より ¥20,000）
事業活動収入計		5,074,463	
2　事業活動支出	①富友会奨学金支出	420,000	全日制￥50,000×６名　定時制￥30,000×４名
	②部活動奨励金支出	260,000	全国総文祭かるた部門 ¥10,000×３名、全国総文祭新聞部門 ¥10,000×２名、全国高校百人一首かるた選手権団体 ¥100,000/ 全国定時制通信制大会（陸上３名、柔道２名、自転車６名）¥10,000×11 名
	③記念品代支出	245,000	卒業証書ケース
	④総会助成金支出	50,000	
	⑤会議費支出	153,067	常任幹事会、支部会祝儀、同窓会入会式
	⑥通信費支出	16,694	切手・郵送代
	⑦会誌印刷代支出	1,039,819	㈱サラト￥1,038,955 ＋振込手数料￥864
	⑧会誌発行作業経費	2,055,548	㈱サラト
	⑨慶弔費支出	46,200	
	⑩ホームページ関連費用	195,264	HP 作成費￥194,400 ＋振込手数料￥864
	⑪教員餞別支出	50,000	
	⑫雑費支出	9,215	卒業アルバム、事務用品、残高証明
事業活動支出計		4,540,807	
事業活動収支差額		533,656	
Ⅱ　投資活動収支の部			
1　投資活動収入		0	
2　投資活動支出		0	
投資活動収支差額		0	
Ⅲ　財務活動収支の部			
1　財務活動収入		0	
2　財務活動支出		0	
財務活動収支差額		0	
当期収支差額		533,656	
前期繰越収支差額		4,868,123	
次期繰越収支差額		5,401,779	

収支計算書に対する注記

１資金の範囲　　資金には、普通預金の他に未収入金を含めております。なお前期末及び当期末残高は、下記２に記載するとおりであります。

２次期繰越収支差額の内訳　　（単位　円）

科　　目	前期末残高	当期末残高
普通預金	4,868,123	5,401,779
未収入金	0	0
合計	4,868,123	5,401,779
次期繰越収支差額	4,868,123	5,401,779

二、正味財産増減計算書　（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

（単位　円）

		当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1　経常増減の部				
（1）経常収益	①入会金	1,662,500	1,664,500	▲ 2,000
	②賛助金	2,055,548	2,183,645	▲ 128,097
	③名簿売上収益	1,329,000	0	1,329,000
	④各種代金収益	3,000	50,000	▲ 47,000
	⑤雑収入	24,415	4,233	20,182
経常収益計		5,074,463	3,902,378	1,172,085
（2）経常費用	①富友会奨学金	420,000	420,000	0
	②部活動奨励金	260,000	180,000	80,000
	③記念品代	245,000	251,280	▲ 6,280
	④総会助成金	50,000	50,000	0
	⑤100周年記念事業賛助	0	0	0
	⑥会議費	153,067	160,258	▲ 7,191
	⑦通信費	16,694	16,947	▲ 253
	⑧会誌印刷代	1,039,819	1,043,271	▲ 3,452
	⑨会誌発行作業経費	2,055,548	2,183,645	▲ 128,097
	⑩慶弔費	46,200	5,000	41,200
	⑪ホームページ関連費用	195,264	0	195,264
	⑫教員餞別	50,000	55,000	▲ 5,000
	⑬雑費	9,215	15,464	▲ 6,249
経常費用計		4,540,807	4,380,865	159,942
当期経常増減額		533,656	▲ 478,487	1,012,143
2　経常外増減の部				
（1）経常外収益		0	0	0
（2）経常外費用		0	0	0
当期一般正味財産増減額		533,656	▲ 478,487	1,012,143
一般正味財産期首残高		16,036,672	16,515,159	▲ 478,487
一般正味財産期末残高		16,570,328	16,036,672	533,656
Ⅱ　指定正味財産		該当ありません		
Ⅲ　正味財産期末残高		16,570,328	16,036,672	533,656

三、平成27年度貸借対照表　平成28年3月31日現在

（単位　円）

資産の部	金　　額	正味財産の部	金　　額
（流動資産）・普通預金	2,702,896	1　指定正味財産	0
・未収入金	0	2　一般正味財産	16,570,328
・普通預金（100周年記念）	2,698,883		
・定期預金	11,168,549		
資産の部合計	16,570,328	正味財産の部合計	16,570,328

四、平成27年度財産目録　平成28年3月31日現在

（単位　円）

項　　目			金　　額
① 普通預金	静岡銀行　富士支店	no.0270280	108,788
	スルガ銀行　富士支店	no.255-038	28,369
	清水銀行　富士支店	no.2340097	210,819
	静岡信用金庫　吉原支店	no.0604563	2,354,920
	静岡信用金庫　吉原支店	no.0659429（100 周年記念準備通帳）	2,698,883
		合　計	5,401,779
② 未収入金	㈱サラトより未収入金		0
③ 定期預金（基金）	静岡銀行　富士支店	no.0089320	8,777,197
	スルガ銀行　富士支店	no.9728795	1,273,555
	清水銀行　富士支店	no.2340097002	1,117,797
		合　計	11,168,549
		①＋②＋③　総　合　計	16,570,328

上記の通り報告いたします

平成28年４月11日　　会計幹事　石井　敬子
会計幹事　前林　千裕

監　査　報　告　書

平成28年４月11日

会計監事　　市　川　祐　司　㊞

1　私は、静岡県立富士高等学校「富友会」の平成27年４月１日から平成28年３月31日に至る会計年度の決算報告について、次の事項を監査した。
（イ）すべての財源及び使途
（ロ）年度末の経理状況が適正に表示されているか

2　この監査にあたって、私は、通常実施すべき監査手続きを実施した。

3　監査の結果、静岡県立富士高等学校「富友会」の会計処理は適正で、富友会会則に従って処理されており、また、平成27年４月１日から平成28年３月31日に至る会計年度の決算報告書は「すべての財源及び使途」及び「年度末の経理の状況」を適正に表示しているものと認めます。　以上のとおり報告いたします。

「静岡県立富士高等学校 クラブ後援会」からのお願い

富友会会員の皆様方におかれましては、ますます御健勝のことと存じます。日頃から母校クラブ後援会に対し御支援、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本校クラブ後援会は、施設設備の拡充、外部講師の費用、部活動の団体登録費、教職員の大会引率旅費等の財源として大切に使わせていただいております。また、東海大会以上の生徒旅費もこのクラブ後援会から支出しており、平成27年度は、新聞部、百人一首部、また定時制では陸上部、自転車部、柔道部が全国大会に出場しました。在校生諸君も先輩方の御好意に感謝しつつ、期待に応えられるよう日々努力を続けております。

母校のさらなる発展のため、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年7月吉日

富士高等学校クラブ後援会　会長　野澤　洋（高14回）

平成27年度　クラブ後援会賛助会費（件数）

年次(中学)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18(5)	18(4)	19	20	21		
寄　付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	6	7	8	5	12	7	6	9		
年次(高校)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
寄　付	10	18	21	19	34	28	39	25	28	36	29	33	22	28	23	20	23	25	24	24	25	15	21	27
年次(高校)	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
寄　付	12	18	16	9	17	14	15	19	17	10	8	10	12	4	10	5	7	6	4	6	3	4	6	3
年次(高校)	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	定	一般	計	
寄　付	2	1	1	4	5	3	4	2	3	5	5	2	3	10	8	8	10	17	31	0	32	1	1,056	

合計　1,056,000円

編集後記

河合重三（高八回）

学校では、今春校長先生の異動があり、杉山洋一校長先生が就任されております。

今年も校友の皆様のお力添えをいただき、富友会会誌第六十九号を、恒例によりお届けいたします。

母校では、文武両道において、引き続き県内トップ校であるそうでOBとして誠に痛快であります。

この会誌の発行にあたり、お忙しいなかを原稿の依頼・寄稿をしていただきました校友の皆様、校内幹事をはじめ先生・職員の皆様、印刷所の皆様、その他すべての関係者にご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

先輩をはじめ校友のおひとりお一人の、ご健康とご多幸を、富士の麓より遙かに、お祈り申し上げます。

富友会会誌 No.69　　平成28年７月21日発行
発行所　静岡県立富士高等学校同窓会富友会　編集委員長　河合　重三
静岡県富士市松本17　☎0545(61)0100　FAX 0545(64)7349